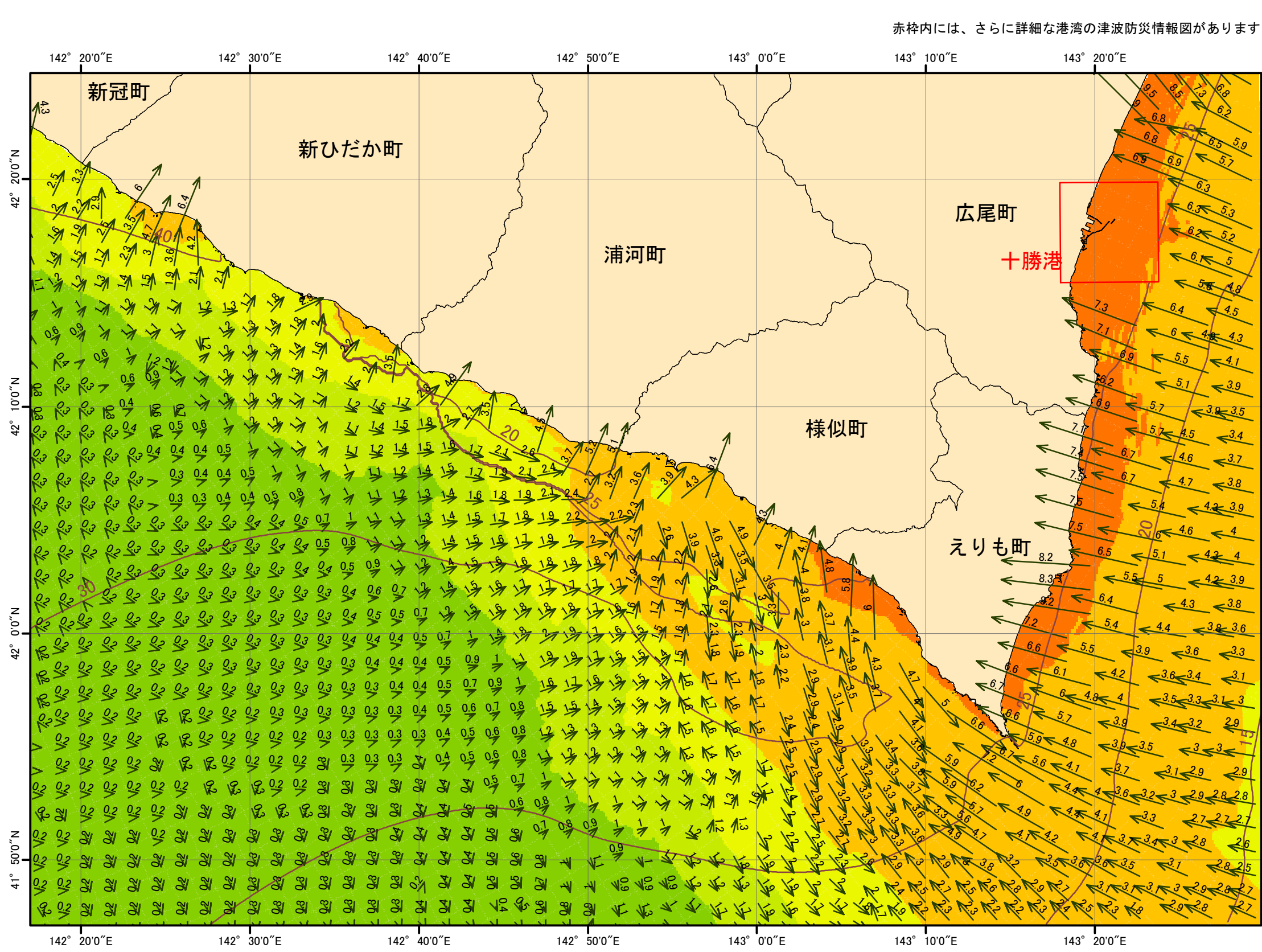


新冠町至広尾町 広域津波防災情報図(進入図) (千島海溝(十勝・根室沖1)地震)

計算条件： 最高水面（零位）
 隆起量： 平均 -0.82m (-1.65～ -0.26m)
 Zo： 0.91m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります

凡例

時間 (分)

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 20m以上
- 10~20m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

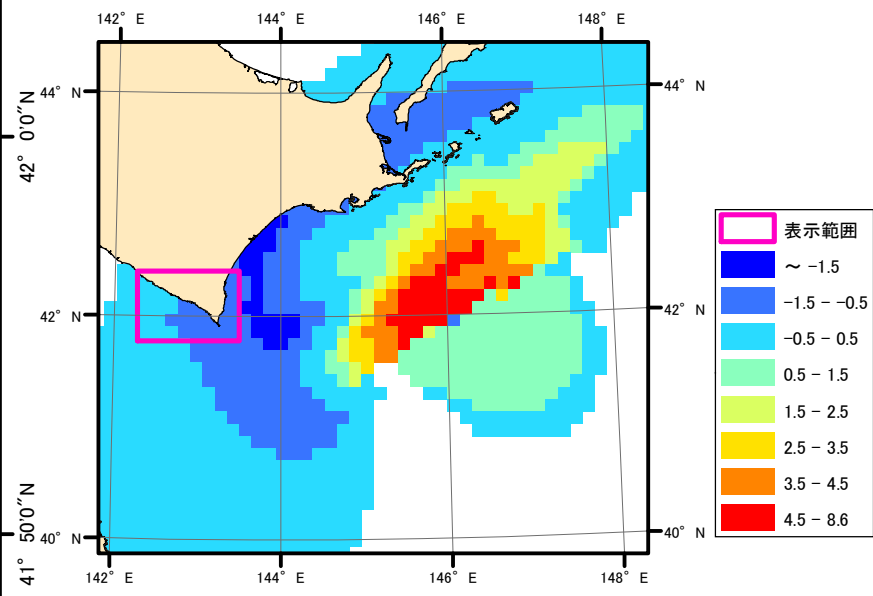
新ひだか町～様似町陸岸付近における水位上昇(+10cm)となる等時線についての詳細な動きは、下記のアニメーションを参照 (<https://www.1kaiho.mlit.go.jp/tsunami/1/41102/tokachi/syousai.mp4>)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- えりも岬以西においては、本図の千島海溝モデルを使用したシミュレーション結果より、日本海溝モデルを使用したシミュレーション結果の方が、より早い時間で津波が到達する可能性がある。

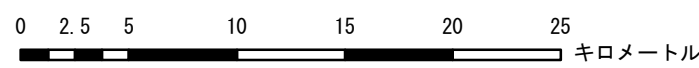
断層モデル



千島海溝(十勝・根室沖1)モデル
 モーメントマグニチュードMw 9.3

本断層モデルは、令和2年度に内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で公表されたモデルである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2022年8月23日取得))



作成機関： 海上保安庁
 防災情報図作成年月： 令和5年11月 (初版)
 地形データ作成年月： 令和4年3月 (初版)